

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	卒業制作	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	180時間
単位数	6単位				授業形態	演習	
教科書/教材	なし						
担当教員情報							
担当教員	横田 実、中山 信彦、ジミー寺川、野田 俊典、篠原 麻梨			実務経験の有無・職種	有 エンジニア・コンポーザー		
学習目的							
この科目は作品制作を通して、外部企業や組織との折衝をとおして社会人としての基本を身に付けることを第一の目的とする。その上で、過去の例や既存のコンテンツにとらわれることなく、独創性を持った新しいコンテンツの制作を目指し、未来のエンジニアにとって不可欠となるクリエイティブな能力を育む。							
到達目標							
制作の最初である企画立案の段階から最後の卒業制作発表会に至るまですべてを学生自らの手で実現することを目標とする。外部の企業、あるいは公共組織などに自らアプローチをかけ、制作に関わる全ての段取りを経験していく中で社会のシステムを理解し、コミュニケーションを初めとする社会人として必要な知識・技能を身につける。また、授業中のあらゆる場面でプレゼンテーションの機会をつくり、自己表現能力を身につけることも目標とする。							
教育方法等							
授業概要	「自分たちが学んだ知識・技術を使い、誰かの為になるコンテンツを制作する」というテーマを自らの視点でとらえ、企画立案する。これらの作品すべてについてプレゼンテーションを行い制作すべき作品を自ら決定する。決定後にこれらの作品の提案者がスタッフを募りグループでの制作に移行する。						
	外部の企業・組織とのアポイント、打ち合わせ等を教員の力を借りることなく自ら行う。予算についても作品ごとに提示し、プロデュースを担当する教員との会議を経て決定する。外部との折衝や予算の執行に関しては、プロデューサーへの報告を徹底する。新たに必要となるスキルについては、担当教員などに自ら申し出てレクチャーを受けるようにする。遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については単位を与えない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	50%	完成された作品の出来栄評価および各プレゼンテーション、発表会に対する評価				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	企画立案			テーマの提示及び個人での企画立案			
2回	グループプレゼンテーション			幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込む			
3回	最終プレゼンテーション			絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行ったうえで最終的な制作作品を決定する			
4回	作品制作1			決定した企画について制作のための準備を行う（台本・予算書の作成や外部との折衝など）			
5回	作品制作2			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
6回	作品制作3			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
7回	作品制作4			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
8回	作品制作5			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
9回	作品制作6			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
10回	作品制作7			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
11回	作品制作8			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
12回	作品制作9			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
13回	作品制作10			作品制作 ～指定のフォーマットに沿った形での納品～			
14回	卒業制作発表会準備			卒業制作発表会の企画を立案し準備を行う			
15回	卒業制作発表会			完成作品を学生同士で、また外部の方々を招待しての発表会を行う			